

教研実践第55号
平成20年5月29日

各都道府県教育委員会教育長 殿

国立教育政策研究所長
近藤 信司

体験活動ボランティア活動支援センターにおけるコーディネーター
養成研修プログラム事例調査について（依頼）

日頃より国立教育政策研究所の調査研究に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当研究所社会教育実践研究センター内に設置しております全国体験活動ボランティア活動総合推進センターでは、都道府県・市区町村における体験活動ボランティア活動支援センター等（以下「支援センター」という。）における特色ある研修プログラム事例について調査を行い、その中から全国のモデルとなるような事例を「平成20年度体験活動ボランティア活動支援センターにおけるコーディネーター養成研修プログラム事例集」として冊子やホームページを通じて全国に紹介をさせていただきたいと考えております。

つきましては、御多忙中のところ大変恐縮ですが、別紙調査票を貴都道府県及び管下市区町村支援センターに配布し、記入要領により作成いただき、調査票をお取りまとめの上、平成20年7月2日（水）までに、メールあるいは郵送により下記担当あて御提出いただきますようお願いいたします。

※別紙調査票等の電子媒体は、<http://volunteer.nier.go.jp/>からダウンロードできますので、御活用ください。ダウンロードできない場合は担当まで御連絡ください。

担 当：社会教育実践センター企画課専門職員 山田
住 所：〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43
TEL：03-3823-0241
FAX：03-3823-3008
E-mail：shaken1@nier.go.jp

体験活動ボランティア活動支援センターにおけるコーディネーター養成研修
プログラム事例調査票

都道府県名		支援センター名	
本件照会先	所 属		
	職名・氏名	職名	氏名
	電 話	- -	F A X - -
	E-mail	@	
1 研修名			
2 研修分類	1 学校と地域の連携を内容とする研修プログラム		
	2 その他 ()		
3 研修コース	1 基礎コース		2 スキルアップコース
	3 その他 ()		
4 研修の趣旨 (200字程度)			
5 主な対象者	I 学校教員		※研修プログラムを添付してください。
	II 教育委員会・首長部局職員		
	III 生涯学習センター・社会教育施設職員		
	IV ボランティアセンター・NPOセンター職員		
	V 青少年団体関係者		
	VI PTA関係者		
	VII ボランティア		
	VI その他()		
6 研修項目	ア ボランティア活動の理念		
	イ ボランティア活動の現状と課題		
	ウ 学校と地域の連携を推進するためのコーディネーターの役割と課題		
	エ 学校支援ボランティア活動の意義とコーディネーターの役割		
	オ 学校教育におけるボランティア学習の意義とプログラムの企画・立案と運営		
	カ 放課後子どもプランの意義とコーディネーターの役割		
	キ その他()		
7 研修の特色 (200字程度)			
8 研修概要 (300字程度)			
9 研修の成果と今後の課題 (200字程度)			

記入要領

体験活動ボランティア活動支援センターにおけるコーディネーター養成研修 プログラム事例調査票

【調査対象】

「体験活動ボランティア活動支援センター」等、支援センターとしての機能を有している当該センター等（以下「支援センター」という。）を調査対象とします。

なお、教育委員会が「体験活動ボランティア活動支援センター」として位置付けていないNPOセンター等は、管下にある場合でも、対象外となります。

【記入方法】

平成19年度に「支援センター」が関わって、企画・立案・実施した体験活動・ボランティア活動のコーディネーター養成あるいはコーディネーターの資質の向上を図ることを目的とした特色のある研修プログラム事例（※）について、研修プログラムを添付のうえ、下記に従い記入してください。

※ 平成19年4月1日から平成20年3月31日までの間に実施した研修とします。

1 研修名

実施した研修プログラムの名称を記入してください。

なお、複数の研修を実施した場合には、研修プログラム事例ごとに別葉にしてください。

2 研修分類

今回作成する事例集では、今日的な課題に対応した研修プログラム事例を取り上げることとし、「学校と地域の連携」を内容とする研修プログラムと、「その他」のものという二つの分類に分けています。該当するものに○を付けてください。

なお、2の「その他」の場合は、（ ）の中にその内容を記入してください。

3 研修コース

該当する研修コースに○を付けてください。

なお、一つの研修で基礎とスキルアップの両方のコースを実施する場合は、別葉にしてください。

4 研修の趣旨

研修を企画し、実施した趣旨を記入してください。

5 主な対象者

主な対象者について、Ⅰ～Ⅷに該当するものに○を付けてください。Ⅷの「その他」の場合は、（ ）の中にその内容を記入してください。

6 研修項目

研修項目について、ア～キに該当するものに○を付けてください。キの「その他」の場合は、()の中にその内容を記入してください。

7 研修の特色

研修プログラム作成上の工夫など、研修の特色について、200字程度で記入してください。

8 研修概要

実施した研修の概要について、300字程度で記入してください。

9 研修の成果と今後の課題

研修の成果と今後の課題について、200字程度で記入してください。

【記入に当たっての留意事項】

- 1 研修を企画・実施する際に、特に工夫した点及び特徴的な点に焦点を当てて記入してください。
- 2 御提出いただいた調査票の中から、まず特色ある研修事例を選定（50事例程度）し、更に詳しく研修内容の原稿を執筆いただき、「平成20年度体験活動ボランティア活動支援センターにおけるコーディネーター養成研修プログラム事例集」として冊子にまとめる予定です。
詳細に執筆いただく事例については、当方から改めて依頼をさせていただきますので、その際は重ねて御協力をお願いいたします。
- 3 事例集の掲載内容については、更に後日当センター内の「全国体験活動ボランティア活動総合推進センター」（以下「全国センター」という。）のホームページで紹介する予定です。